

各位

2024年6月7日  
株式会社ダイヤモンド・リテイルメディア

## 6/7~7/19 まで候補施策募集中！ 第3回「サステナブル・リテリング表彰」

ダイヤモンド・リテイルメディア（東京都千代田区、代表者平井俊之）は1970年4月に設立した「流通ビジネスを元気にする」を掲げる流通小売情報専門の出版社です。昨今、食品小売企業にもサステナビリティが求められるようになり、各社が取り組みを加速しています。こうした動きを後押し、業界全体で盛り上げていくことを目的に2022年、「サステナブル・リテリング表彰」を立ち上げました。その第3回となる企画を開催します。

ローカルスーパーのアイデア光る取り組みなど、企業や定量結果の規模だけで判断することなく、業界が注目すべき優れた施策にスポットライトを当ててまいります。是非、奮ってご応募ください。ご応募お待ちしております。



### ■サステナブル・リテリング表彰とは

サステナビリティを実現する食品小売企業の施策を応募によって募集。集まった施策の中から選考委員の評価・選定によって受賞施策を決定し表彰する企画です。受賞施策の実施企業には記念品を贈呈するほか、ダイヤモンド・リテイルメディアの媒体を通じて施策を紹介させていただきます。

### ■食品小売業と「連携した」施策でも応募可能

サステナビリティ推進において企業間連携が求められるなか、食品小売企業が実施した施策だけでなく、食品小売業と連携して行った施策も募集します。食品小売業と連携した施策であれば、メーカー（食品メーカーに限らない）、商社、卸など、業種を問わず応募いただけます。

参加することによって、食品小売企業にとっては「社内のモチベーション向上」「業界内での好事例の共有」「自社施策のステークホルダーへの周知」など、連携して施策に取り組む企業にとっては、「食品小売企業の直近の取り組みを知ることで提案力の向上」「自社サービスの周知」が可能となり、サステナブルな施策の連携を加速する効果が期待できると考えます。

(表彰企画のめざす姿)



### ■選出方法

専用応募フォームを通じ、応募によって候補施策を募ります  
その後、選考委員会の審査によって優れた施策を複数、表彰します  
そのうち1つは食品小売企業が同業・異業種と連携して取り組んでいる施策を表彰予定です

### ■スケジュール

施策募集期間 2024年6月7日(金)から7月19日(金)まで  
結果発表 2024年9月上旬～中旬  
「ダイヤモンド・チェーンストア オンライン」上で発表予定

### ■応募方法

専用サイト内の応募フォームから応募ください

<https://sustainable-retailing.diamond-rm.net/>

右側のQRコードからもアクセスできます



### ■応募条件

- ・食品小売企業の施策(食品EC、生協を含みます)  
または、食品小売企業と連携して取り組んだ施策
  - ・すでに実施している施策
- ※1つの企業で3つの施策まで応募可能です

### ■協力パートナー、後援

本企画にご賛同いただいた下記の団体、省庁に協力・後援いただいております。

協力パートナー(あいうえお順)

**AJS**  
オール日本スーパーマーケット協会

一般社団法人  
全国スーパーマーケット協会  
National Supermarket Association of Japan

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

後援

**消費者庁**  
Consumer Affairs Agency, Government of Japan

■第2回の受賞施策 計18組織から30施策が集まり、計3つの賞を決定しました

### プロダクト・イノベーション賞

#### 「アップサイクル食品開発の取り組み～Upcycle by Oisix～」

オイシックス・ラ・大地株式会社

従来、捨てられているものに付加価値をつけ新たな製品とする「アップサイクル」に着目。21年7月にフードロス解決ブランド「Upcycle by Oisix」を発売した。23年9月末までに79品のアップサイクル商品を開発し、計約96トンの食品ロスを削減している。その商品開発・プロデュース力の高さから、メーカーからの共同開発の依頼や、食品小売店での商品の取り扱いが増えており、食品小売業のビジネスの核である「食」「商品」を通じてサステナビリティを実践する先進事例として受賞

### 「Leave no one behind (誰も取り残さない)賞」

#### 「買物難民対策」 株式会社アークス

商圈エリアで人口減少、少子高齢化が進み買物が困難になってしまった地域・人々に、ネットスーパー、超極小型店舗の出店、「無料お買い物バス」の運行という3つのアプローチで対応。いずれの事業も黒字化させており、サステナビリティをビジネスによって実現していく姿勢、また買物が困難な人も取り残さず、自社の経営資源を活用して買物機会の提供を行っている点が、SDGs(持続可能な開発目標)が掲げるビジョン「Leave no one behind (誰も取り残さない)」を体現しているとして受賞

### 「企業間連携賞」

#### 「先進的な省エネ・創エネ・蓄エネ設備を備えた新たな環境負荷低減店舗の挑戦」

株式会社セブン-イレブン・ジャパン、サンデン・リテールシステム株式会社

東洋エンジニアリング株式会社、株式会社日立製作所、株式会社リコー

5社で連携し、次世代型の環境負荷低減店舗「セブン-イレブン三郷彦成2丁目店」(埼玉県三郷市:23年2月開店)を開発。各社の先端技術を搭載することで、13年度比で店舗の購入電力量は約60%、CO2排出量は約70%の削減を見込み、従来よりサステナビリティを実現する店舗創造に成功している。いまだ実験店ではあるが、いまや社会インフラにもなっているコンビニ店舗を革新していく気概、また企業間連携を実現していく各社のリーダーシップが評価され受賞



オイシックス・ラ・大地の「Upcycle by Oisix」シリーズ



アークスの伊藤チエーンが運行する「無料お買い物バス」



環境負荷低減店舗「セブン-イレブン三郷彦成2丁目店」

▼発表記事はこちら

<https://diamond-rm.net/management/474064/>

問い合わせ先：株式会社ダイヤモンド・リテイルメディア

TEL：03-5259-5921 サステナブル・リテリング表彰 事務局 大宮